

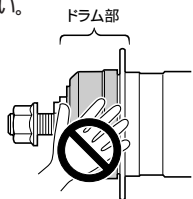
安全の為に必ずお守りください

警告

- 自転車のブレーキは、製品のモデルによって取扱いが多少異なることがあります。したがって、自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキ系統の適切な操作を充分理解し、慣れるようにしてください。ブレーキ系統の操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、事故のもとになり、また大怪我を招くとも限りません。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- ブレーキアームをフレームに固定するときは、チェーンステアのサイズに合ったアームクリップをクリップボルトとクリップナットで指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。クリップナットは、ナイロンインサートロックナット(緩み止めナット)を使用してください。クリップボルト、クリップナット及びアームクリップはシマノ製をお勧めします。なおアームクリップは、チェーンステアに合ったものをご使用ください。ブレーキアームのクリップナットが外れたり、クリップボルトまたはアームクリップが破損すると、ブレーキアームが回転し突然ハンドルがとられたり、車輪がロックして転倒し大怪我をすることがあります。
- 製品を取付ける時は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をすることがあります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

注意

- 長い下り坂でブレーキを連続して使用されると、ブレーキ内部が高温になりブレーキの効きが弱くなったり、内部のグリスがなくなりブレーキの効きが急に強くなる等の異常が発生する場合があります。
- ならし走行をして、コスターブレーキの制動力の確認をしてください。
- ブレーキをひんばんに使用した場合、ドラム部が高温になる場合があります。走行後しばらく(30分位)は、ドラム部に手をふれないよう注意してください。



使用上の注意:

- スポークは、6本組または8本組で編まれた車輪を使用してください。ラジアル組の車輪は使用できません。スポークや車輪の破損またはブレーキ時に音鳴りの発生する恐れがあります。
- ペダルを踏みながら変速ができますが、変速したあとで確実な変速動作のため、ハブ内部の爪とラチェットの間でまれに音が発生する場合があります。
- 車輪の回転が重くなった場合は、ブレーキシューの交換またはグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油はおこなわないでください。グリスが流れ出します。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を伸ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合は、ギアとチェーンを交換してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法または調整方法について疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

SI-35U0C-001

SG-3C41

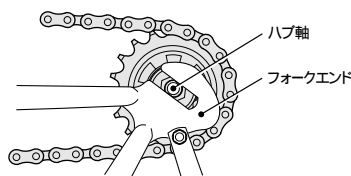
インター3ハブ
(コスターブレーキ付)

ご使用方法

インター3用シフティングレバーに添付されている取扱い説明書も合わせてよくお読みください。

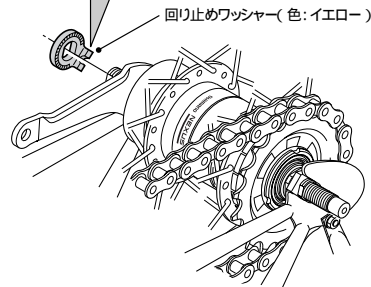
ハブのフレームへの取付け

- チェーンをスプロケットに掛け、ハブ軸をフォークエンドにセットします。

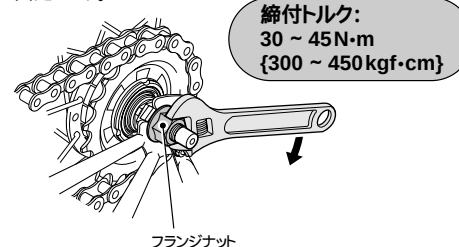


- ハブ軸の左側の外側から回り止めワッシャーをセットします。このとき、フォークエンドの溝に、回り止めワッシャーの突起部が入るようにハブ軸を回転させて取付けます。

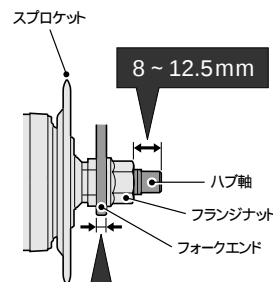
- 突起部をフォークエンド側にセットします。
- 突起部をフォークエンドの溝に確実に入るように、ハブ軸の前側または後側に入れます。



- ハブ軸の左右にフランジナットをねじ込みます。その後、チェーンのたるみを取り、車輪をフレームにフランジナットで確実に固定します。

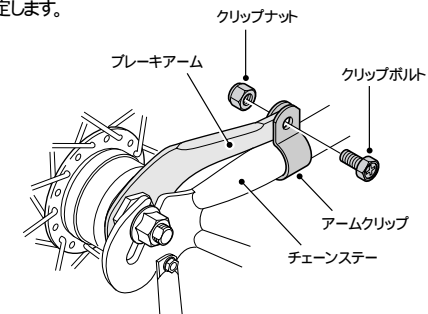


- ご注意:
- フランジナットの端面から右側のハブ軸の出が、8 ~ 12.5mmであることを確認してください。



フォークエンド及びスタンドや泥よけステー等の合計寸法
4 ~ 7.5mm(軸長168mm / 175mm)
9 ~ 12.5mm(軸長178mm)

- ブレーキアームを、チェーンステアにアームクリップで確実に固定します。

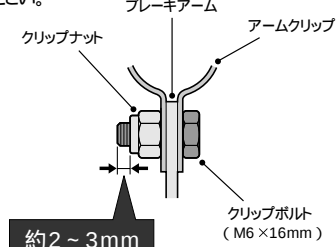


ご注意:

- アームクリップを取付けるときは、クリップナットを10mmスパナで固定し、クリップボルトを確実に締付けてください。

締付トルク:
2 ~ 3 N・m {20 ~ 30 kgf・cm}

- アームクリップを取付けた後、クリップボルトがクリップナットの端面から約2 ~ 3mm出ていることを確認してください。



- ご使用になる前に、ブレーキの効きおよび車輪がスムーズに回ることを必ず確認してください。

この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961
Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577